

次の問に答えよ。

- (1) 整数  $m$  に対して、 $m^2$  を 4 で割った余りは 0 または 1 であることを示せ。  
 (2) 自然数  $n, k$  が

$$25 \times 3^n = k^2 + 176 \quad \cdots \cdots (*)$$

を満たすとき、 $n$  は偶数であることを示せ。

- (3) (2) の関係式 (\*) を満たす自然数の組  $(n, k)$  をすべて求めよ。

(21 北海道大 後理・工 4)

【答】

- (1) 略  
 (2) 略  
 (3) (4, 43), (2, 7)

【解答】

- (1) 4 を法とする合同式を用いると

$$\begin{aligned} 0^2 &\equiv 0, \\ (\pm 1)^2 &\equiv 1, \\ 2^2 &\equiv 0 \end{aligned}$$

であるから、整数  $m$  に対して、 $m^2$  を 4 で割った余りは 0 または 1 である。

…… (証明終わり)

- $m$  を偶数、奇数で場合分けしてもよい。

$$m = 2M \text{ のとき, } m^2 = 4M^2 = (4 \text{ の倍数})$$

$$m = 2M + 1 \text{ のとき, } m^2 = 4M(M + 1) + 1 = (4 \text{ の倍数}) + 1$$

であるから、整数  $m$  に対して、 $m^2$  を 4 で割った余りは 0 または 1 である。

- (2) 自然数  $n, k$  が

$$25 \times 3^n = k^2 + 176 \quad \cdots \cdots (*)$$

を満たすとき、 $n$  は偶数であることを背理法で示す。

$n$  が奇数  $n = 2l + 1$  ( $l$  は 0 以上の整数) と仮定し、4 を法とする合同式を用いる。

$$\begin{aligned} ((*) \text{ の左辺}) &= 25 \cdot 3^{2l+1} \\ &= 25 \cdot 9^l \cdot 3 \\ &\equiv 1 \cdot 1^l \cdot 3 \\ &= 3 \end{aligned}$$

また、(1) と  $176 = 4^2 \cdot 11 \equiv 0$  であることから

$$\begin{aligned} ((*) \text{ の右辺}) &\equiv 0 + 0 \text{ または } 1 + 0 \\ &\equiv 0 \text{ または } 1 \end{aligned}$$

$3 \equiv (0 \text{ または } 1)$  は不合理であり、 $n$  は偶数である。

…… (証明終わり)

- (\*) の左辺は奇数であるから、右辺も奇数であり、176 は偶数なので、 $k^2$  すなわち  $k$  は奇数である。以後、4 を法とする合同式を用いる。

(1) より、 $k$  が奇数のとき、 $k^2 \equiv 1$  である。さらに、 $176 = 4^2 \cdot 11$  であるから

$$(*) \text{ の右辺} \equiv 1 + 0 \equiv 1$$

である。

一方、 $25 \equiv 1$ 、また、 $3^{n+2} = 9 \cdot 3^n \equiv 3^n$  であるから、 $3^n$  を 4 で割った余りは 2 を周期とする。

$$(*) \text{ の左辺} \equiv 1 \cdot 3^n = 3^n \equiv \begin{cases} 3 & (n: \text{奇数}) \\ 1 & (n: \text{偶数}) \end{cases}$$

よって、(\*) が成り立つのは  $n$  が偶数のときである。

- (3) (2) より、(\*) を満たす  $n$  は偶数であるから、 $l$  を適当な自然数として、 $n = 2l$  とおくことができる。このとき

$$(*) \iff 25 \cdot 3^{2l} = k^2 + 176$$

$$\iff 5^2 \cdot (3^l)^2 - k^2 = 176$$

$$\iff (5 \cdot 3^l + k)(5 \cdot 3^l - k) = 2^4 \cdot 11$$

が成り立つ。  $l, k$  が自然数より  $5 \cdot 3^l + k > 5 \cdot 3^l - k$  であり

$$(5 \cdot 3^l + k) - (5 \cdot 3^l - k) = 2k = (\text{偶数})$$

であることより、 $5 \cdot 3^l + k$  と  $5 \cdot 3^l - k$  の偶奇は一致する。したがって

$$(5 \cdot 3^l + k, 5 \cdot 3^l - k) = (88, 2), (44, 4), (22, 8)$$

$$\therefore (5 \cdot 3^l, k) = (45, 43), (24, 20), (15, 7)$$

$5 \cdot 3^l = 24$  となる自然数  $l$  は存在しないから

$$(l, k) = (2, 43), (1, 7)$$

と定まる。

よって、求める自然数の組  $(n, k)$  は

$$(4, 43), (2, 7)$$

……(答)

の 2 組がすべてである。